

新 旧 対 照 表

(下線部は変更部分)

○滞在型周遊ルート¹の確立に向けた、主要観光資源のブラッシュアップ及びパッケージ化計画 (抄)

平成28年12月13日認定
平成29年6月27日変更認定
平成30年3月30日軽微な変更適用

変更後	変更前
<p>1～3 (略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海津市は岐阜県の最南端に位置し、西部・南部を三重県に、東部を木曾川・長良川によって愛知県に隣接しており、広ぼうは東西約 13 km、南北約 17 kmで、面積は 112.03 km²である。 ・当市には、文化・スポーツ・食・癒しに関する観光資源が豊富に存在する。特に、木曾・長良・揖斐川沿いや養老山地の豊かな自然景観や、千代保稲荷神社に代表される文化的拠点は、知名度も高い。一方、これらの観光資源について、三町合併ということもあり、旧町ごとの観光施策であり、地理的・歴史的ストーリー性を踏まえたパッケージ化や、周遊型観光施策に関して具体的提言はなされてこなかった。その結果、各種PR方法についても、硬直化した思考のもとでしか展開できず、名古屋市圏域や伊勢・志摩圏域等、交流人口の多い圏域に近接しながらも、当市の圏域における滞在人口は伸び悩み、RE S A Sによれば年間約 770,000 人(海津市人口除)に留まっている。こういったことから観光資源にも地理的にもある程度恵まれているが、それらを繋ぐ効果的なPRを行えなかったことが構造的な課題と言える。 その課題を解決するために、当市内の地域資源の魅力新たな目で掘り起こし、広 	<p>1～3 (略)</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海津市は岐阜県の最南端に位置し、西部・南部を三重県に、東部を木曾川・長良川によって愛知県に隣接しており、広ぼうは東西約 13 km、南北約 17 kmで、面積は 112.03 km²である。 ・当市には、文化・スポーツ・食・癒しに関する観光資源が豊富に存在する。特に、木曾・長良・揖斐川沿いや養老山地の豊かな自然景観や、千代保稲荷神社に代表される文化的拠点は、知名度も高い。一方、これらの観光資源について、三町合併ということもあり、旧町ごとの観光施策であり、地理的・歴史的ストーリー性を踏まえたパッケージ化や、周遊型観光施策に関して具体的提言はなされてこなかった。その結果、各種PR方法についても、硬直化した思考のもとでしか展開できず、名古屋市圏域や伊勢・志摩圏域等、交流人口の多い圏域に近接しながらも、当市の圏域における滞在人口は伸び悩み、RE S A Sによれば年間約 770,000 人(海津市人口除)に留まっている。こういったことから観光資源にも地理的にもある程度恵まれているが、それらを繋ぐ効果的なPRを行えなかったことが構造的な課題と言える。 その課題を解決するために、当市内の地域資源の魅力新たな目で掘り起こし、広

域的なイベントの開催などを通じて、市外へ強くアピールしていく必要がある。同時に、側方支援として、宿泊施設の誘致も推進していく。そういった取り組みを重点的且つ継続的に行うことで、昨年度から西濃圏域3市9町で取り組んでいる「国内・海外観光プロモーション事業」との相乗効果を狙い、今まで以上に誘客を図って行き、将来的にはサービス業、宿泊業、製造業等の雇用増やそれをきっかけとする移住・定住人口の増を目標とする。

【数値目標】

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末	平成 33 年 3 月末
主要観光拠点（市内5か所）入込客数増加	45,000人	100,000人	100,000人	<u>112,000人</u>	<u>112,000人</u>
道の駅来客数増加	5,000人	5,000人	10,000人	11,000人	12,000人
観光拠点再振興箇所数	1箇所	3箇所	6箇所	7箇所	8箇所

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 (略)

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

(1) まち・ひと・しごと創生寄附金活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【2007】

①・② (略)

域的なイベントの開催などを通じて、市外へ強くアピールしていく必要がある。同時に、側方支援として、宿泊施設の誘致も推進していく。そういった取り組みを重点的且つ継続的に行うことで、昨年度から西濃圏域3市9町で取り組んでいる「国内・海外観光プロモーション事業」との相乗効果を狙い、今まで以上に誘客を図って行き、将来的にはサービス業、宿泊業、製造業等の雇用増やそれをきっかけとする移住・定住人口の増を目標とする。

【数値目標】

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末	平成 33 年 3 月末
主要観光拠点（市内5か所）入込客数増加	45,000人	100,000人	100,000人	<u>110,000人</u>	<u>110,000人</u>
道の駅来客数増加	5,000人	5,000人	10,000人	11,000人	12,000人
観光拠点再振興箇所数	1箇所	3箇所	6箇所	7箇所	8箇所

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 (略)

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

(1) まち・ひと・しごと創生寄附金活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【2007】

①・② (略)

③事業の目的・内容

(目的) (略)

(内容)

初年度) (略)

2年目) 初年度に整備したハリヨの遊水池の門扉及びハリヨ生息地の解説看板が老朽化しているため修繕を行う。また、遊水池に隣接した駐車場と屋外トイレを3年目に整備するため、設計委託業務を行う。

水環境の保全に対する意識向上とそれに伴うハリヨの生態系等を理解するための調査や市内外へPRするために開催を予定している市民創作劇の準備を行う。

3年目) 2年目に設計業務委託を行った駐車場と屋外トイレの整備工事をを行い更なる誘客をはかる。

ハリヨをテーマとした市民創作ミュージカル開催に先がけ、ミュージカル体験ワークショップとミュージックフェスタ in K A I Z Uを開催することにより、市内外への情報発信をはかる。

④ (略)

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指標 (KPI))

事業	海津市観光資源ブラッシュアップ事業	年月
KPI	主要観光拠点 (市内5か所) 入込客数	
申請時	45,000人	H29.3
初年度	100,000人	H30.3
2年目	100,000人	H31.3
3年目	<u>112,000人</u>	H32.3

③事業の目的・内容

(目的) (略)

(内容)

初年度) (略)

2年目) 初年度に引き続き、湧水池周辺の市内外からの観光客を迎えるための駐車場整備の実施や、市内小学生を対象に校「津屋川水系清水池ハリヨ生息地」の現地見学とハリヨの生態について学習する機会を与える。併せて、市内外の大人から子供までがハリヨの生態系等を理解し、PRするための映画上映会等を開催する。

3年目) 2年目に引き続き、市内外の大人から子供までがハリヨの生態系等を理解し、PRするための映画上映会等を開催する。

④ (略)

⑤事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指標 (KPI))

事業	海津市観光資源ブラッシュアップ事業	年月
KPI	主要観光拠点 (市内5か所) 入込客数	
申請時	45,000人	H29.3
初年度	100,000人	H30.3
2年目	100,000人	H31.3
3年目	<u>110,000人</u>	H32.3

⑥事業費

(単位：千円)

海津市観光資源 ブラッシュアップ 事業	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計	19,353	<u>5,355</u>	<u>24,644</u>	<u>49,352</u>
区 分	報償費	188	<u>184</u>	<u>307</u>	<u>679</u>
	需用費	722	<u>476</u>	<u>1,085</u>	<u>2,283</u>
	役務費			<u>22</u>	<u>22</u>
	委託料	3,543	<u>4,695</u>	<u>2,677</u>	<u>10,915</u>
	使用料及び 賃借料	50	<u>0</u>	<u>21</u>	<u>71</u>
	工事請負費	14,850	<u>0</u>	<u>20,328</u>	<u>35,178</u>
	負担金、補 助金及び交 付金	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>204</u>	<u>204</u>

⑦～⑨ (略)

(2)・(3) (略)

5-3 (略)

6 (略)

7 (略)

7-1 (略)

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

⑥事業費

(単位：千円)

海津市観光資源 ブラッシュアップ 事業	年度	H29	H30	H31	合計
	事業費計	19,353	<u>8,421</u>	<u>1,514</u>	<u>29,288</u>
区 分	報償費	188	<u>134</u>	<u>154</u>	<u>476</u>
	需用費	722	<u>177</u>	<u>350</u>	<u>1,249</u>
	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)
	委託料	3,543	<u>710</u>	<u>710</u>	<u>4,963</u>
	使用料及び 賃借料	50	<u>400</u>	<u>300</u>	<u>750</u>
	工事請負費	14,850	<u>7,000</u>	(新設)	<u>21,850</u>
	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)	(新設)

⑦～⑨ (略)

(2)・(3) (略)

5-3 (略)

6 (略)

7 (略)

7-1 (略)

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末	平成 33 年 3 月末		平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末	平成 32 年 3 月末	平成 33 年 3 月末
主要観光拠点（市内 5 か所）入込客数増加	45,000 人	100,000 人	100,000 人	<u>112,000 人</u>	<u>112,000 人</u>	主要観光拠点（市内 5 か所）入込客数増加	45,000 人	100,000 人	100,000 人	<u>110,000 人</u>	<u>110,000 人</u>
道の駅来客数増加	5,000 人	5,000 人	10,000 人	11,000 人	12,000 人	道の駅来客数増加	5,000 人	5,000 人	10,000 人	11,000 人	12,000 人
観光拠点再振興箇所数	1 箇所	3 箇所	6 箇所	7 箇所	8 箇所	観光拠点再振興箇所数	1 箇所	3 箇所	6 箇所	7 箇所	8 箇所
7 - 3 (略)						7 - 3 (略)					